

今週は挨拶週間ですね。「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」「さようなら」など、挨拶は、とても短い言葉ですが、一瞬で幸せにできる「魔法のことば」でもあります。実際に、気持ち良い挨拶をされると、うれしい気持ちになりますか？

「あいさつ」はどれも簡単な言葉なので、形だけとか、儀礼的にされがちですが、家族、学校、これからみなさんが社会でていってからの「人と接する場」において、基本的なマナーとしてのとても大切な役割があります。挨拶は、挨拶をする相手の存在をちゃんと認めていますよ、というサインです。そのような大切な意味も含むため、挨拶をすることは、相手の心に近づくための、大切なコミュニケーションの第一歩になります。人間関係をより心地よく、スマーズにするためになくてはならないものだといえます。ちょっとしたことを意識するだけでも、印象は全然違います。そこで今日は三つのアイ + α について、紹介したいと思います。

まず一つ目のアイは、「愛情」です。相手のことを思って、私はあなたのことを大切にしていますよ、という気持ちを込めることです。

二つ目は「愛嬌」です。愛嬌とは、にこっと笑ってかわいらしいことです。口角をあげるだけで全然違います（口の絵を示す）。むすっとしていたり、無表情であったりするよりも、笑顔でする挨拶は全然違います。

三つ目は「アイコンタクト」です。アイコンタクトとは、顔を相手に向け、相手の目を見て挨拶をすることです。しっかりと目を見ることで、相手の存在を意識しているといえます。さらに、この三つに軽いお辞儀を加えるととても良い挨拶になると思います。三つのアイ、「愛情」「愛嬌」「アイココンタクト」+軽いお辞儀を加えて、小学生らしく、元気良い挨拶を今週も期待しています。